

薄壁部品の自動計測技術の開発

～金属光沢を有する切削加工部品の高精度非接触形状測定～

● あいち産業科学技術総合センター 水野和康、児玉英也

成果概要

- 光コムを利用した自動計測装置(図1)を構築することにより、非接触計測が難しい金属光沢部品(シアタイ、図2)の三次元測定を実現した。
- 検査対象を最適測定位置に移動し、5面分のデータを自動的に取得、解析(平面度、角度など)することが可能(図3)。本サンプルの場合データ取得時間は約3分
- 反射防止などの前処理は不要

特長

- 金属光沢を有する切削加工表面を低ノイズで自動計測が可能
- 反射防止などの前処理が不要



図1 非接触自動計測装置の概観



図2 金属光沢部品(シアタイ)

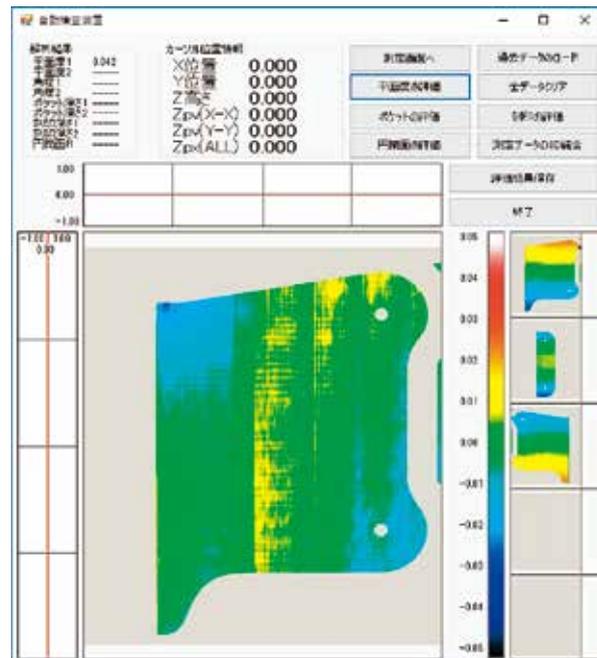


図3 検査結果画面(平面度の測定結果)

応用分野

- 自動車部品などの金属光沢部品の非接触形状計測
- 各種インライン計測

● お問い合わせ先：あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 自動車・機械技術室 水野和康
e-mail :k-mizuno@aichi-inst.jp 電話番号:0566-24-1841 FAX:0566-22-8033

● 特許の有無：無